2018.11.6

Z.com Cloud ご利用ガイド

この度は Z.com Cloud をご採用くださいまして誠にありがとうございます。
本書では、主にコントロールパネルの操作をもとに、基本的なご利用方法をご案内いたします。

目次

初期納品 2
コントロールパネル 3
1. コントロールパネルのログイン 3
1-1. ログインパスワードの再設定 3
1-2. コントロールパネルのログイン方法 6
2. マルチアカウント 7
2-1. サブアカウントの操作 7
2-2. サブアカウントの作成 8
2-3. ロールの作成 9
3. 仮想サーバー 11
3-1. 仮想サーバーの作成 11
3-2. 仮想サーバーの操作 15
4. ベアメタルサーバー 17
4-1. ベアメタルサーバーの追加 17
4-2. ベアメタルサーバーの操作 18
5. ホストサーバー 19
5-1. ホストサーバーの追加 19
5-2. ホストサーバーの操作 21
6. ブロックストレージ 22
6-1. ブロックストレージの操作 22
6-2. ブロックストレージの作成 23
7. イメージ 26
8. オブジェクトストレージ 27
9. ネットワーク 28
9-1. ネットワークリスト 28
9-2. ロードバランサー 29
10. セキュリティグループ 31
10-1. セキュリティグループの追加 31
10-2. セキュリティグループの操作 33

11. API 34

12. SSH Key 35

初期納品

アカウント発行完了後、弊社担当よりアカウント情報をお届けします。こちらはお問い合わせの際に Z.com のご契約確認に必要なアカウントでございますので、大切に保管してください。

※初期納品に関する補足事項

Z.com アカウント	お問い合わせの際、弊社担当にお伝えください。
コントロールパネル	サーバーの追加・削除等、各種設定用の管理画面です。
グローバル IP	標準グローバルネットワークのグローバル IP をお一つ無料でご利用いただけます。コントロールパネルよりお申し込みの上、弊社営業担当 もしくは お客様センターまで対象のグローバル IP をご連絡ください。
プライベートネットワーク (VLAN)	内部用として、プライベートネットワークをお一つ無料でご利用いただけます。コントロールパネルよりお申し込みの上、弊社営業担当 もしくは お客様センターまで対象のプライベートネットワークをご連絡ください。

コントロールパネル

ここからはコントロールパネルの操作についてご案内いたします。

コントロールパネルのログインページ

https://cloud.z.com/jp/signin/

1. コントロールパネルのログイン

1-1. ログインパスワードの再設定

アカウント発行後のログイン初期パスワードにつきましては、ランダムとなっております。
大変お手数をおかけいたしますが、以下方法にて任意のパスワードに再設定をお願いいたします。

コントロールパネルのログインページにアクセスします。

「ログイン」ボタンの下にございます「パスワード再発行」をクリックします。

「Z.com Cloud」の申込書にご記入いただきましたご担当者様の「メールアドレス」をご入力の上、「送信」ボタンをクリックします。

※「Z.com Cloud」の申込依頼書にご記入いただきましたご担当者様の「メールアドレス」宛てに下記、件名にてパスワード再発行のお手続きページ(URL)が記載されたメールが送信されますので、ご確認ください。

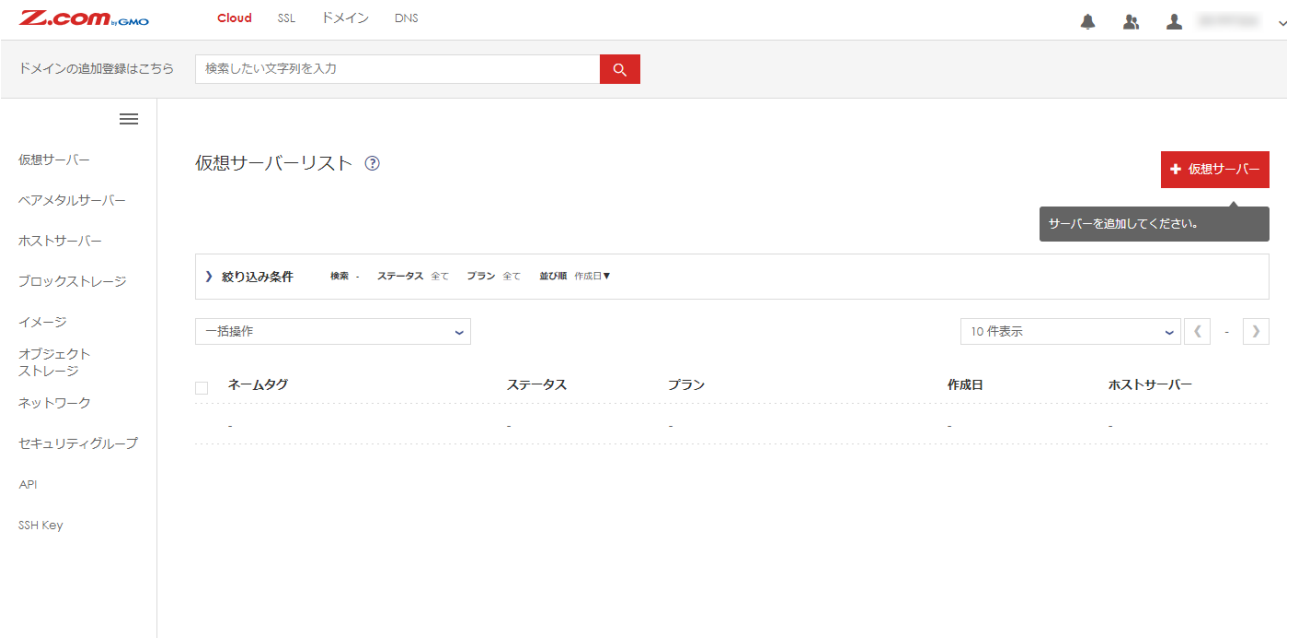
件名:[Z.com] パスワードリセットのお申込みを受け付けました

パスワード再発行のお手続きページにアクセスいただき、新しいパスワードをご入力の上、「リセット」ボタンをクリックします。

1-2. コントロールパネルのログイン方法

ログインページにアクセスいただき、申込書にご記入いただきました「メールアドレス」と再設定後の「パスワード」をご入力の上、「ログイン」ボタンをクリックします。

下記画面が表示されましたら、「Z.com Cloud」の各サービスのお申し込みや操作が可能です。



2. マルチアカウント

「マルチアカウント」メニューでは、メインとなるマスターアカウントのほかに、サブアカウントを複数発行できる機能を利用いただけます。サブアカウントは権限（ロール）を細かく設定することができるため、サーバー管理者や請求担当者など、業務範囲に応じたアカウントを作成することができます。

2-1. サブアカウントの操作

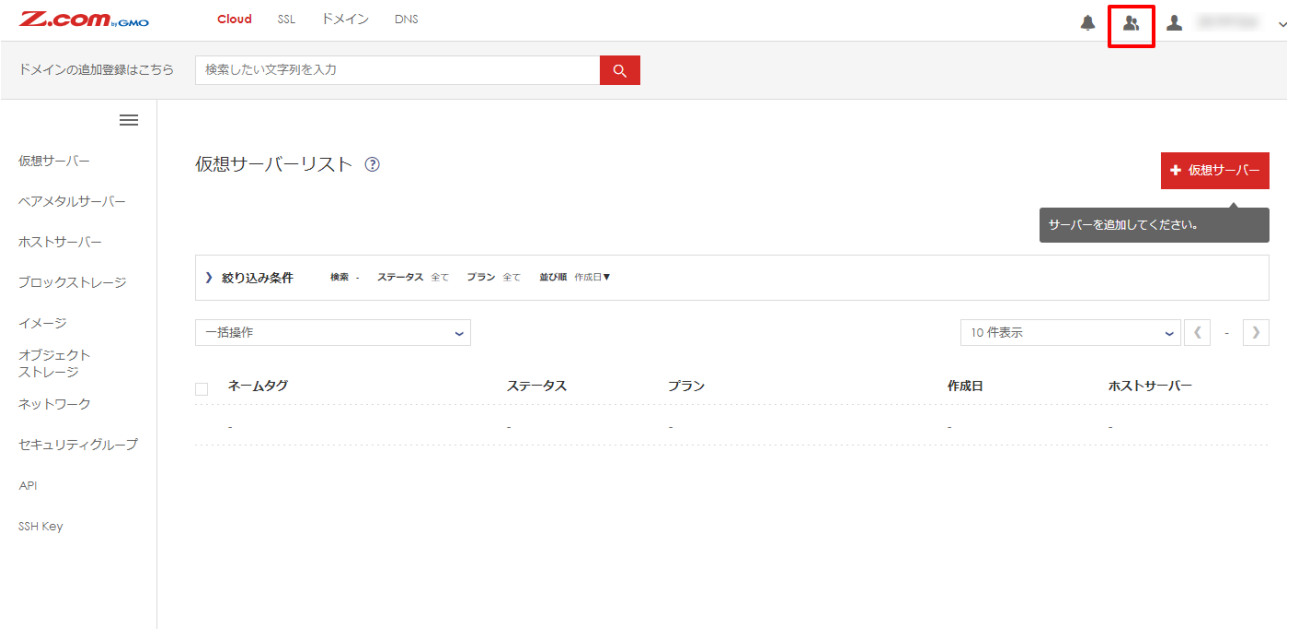
上段メニューより **[マルチアカウント]** アイコンをクリックします。

アカウントリストにてサブアカウント一覧が表示され、サブアカウントの作成と、作成済みのサブアカウントの パスワード初期化 / ロール編集 / メールアドレス編集 / メール送信編集 / パスワード有効期限編集 / 削除 の一括操作が可能です。

- **パスワード初期化** …… 「パスワードリセット」メールが設定されているメールアドレス宛てに送信されます。
- **ロール編集** …… ロールを変更します。
- **メールアドレス編集** … メールアドレスを変更します。
- **メール送信編集** …… メール送信設定を変更します。
- **パスワード有効期限** … パスワードの有効期限を変更します。
- **削除** …サブアカウントを削除します。

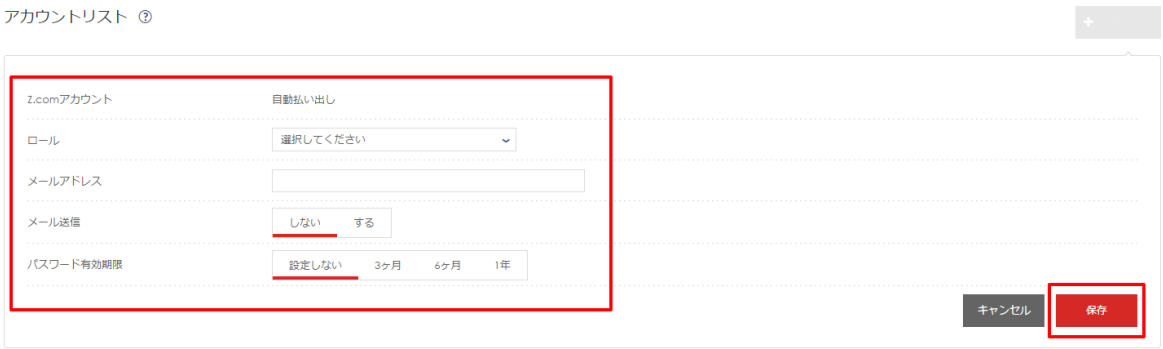
2-2. サブアカウントの作成

上段メニューより **[マルチアカウント]** アイコンをクリックします。



アカウントリストより **[+ アカウント]** をクリックします。

各設定項目をご入力・ご選択の上、 **[保存]** をクリックします。



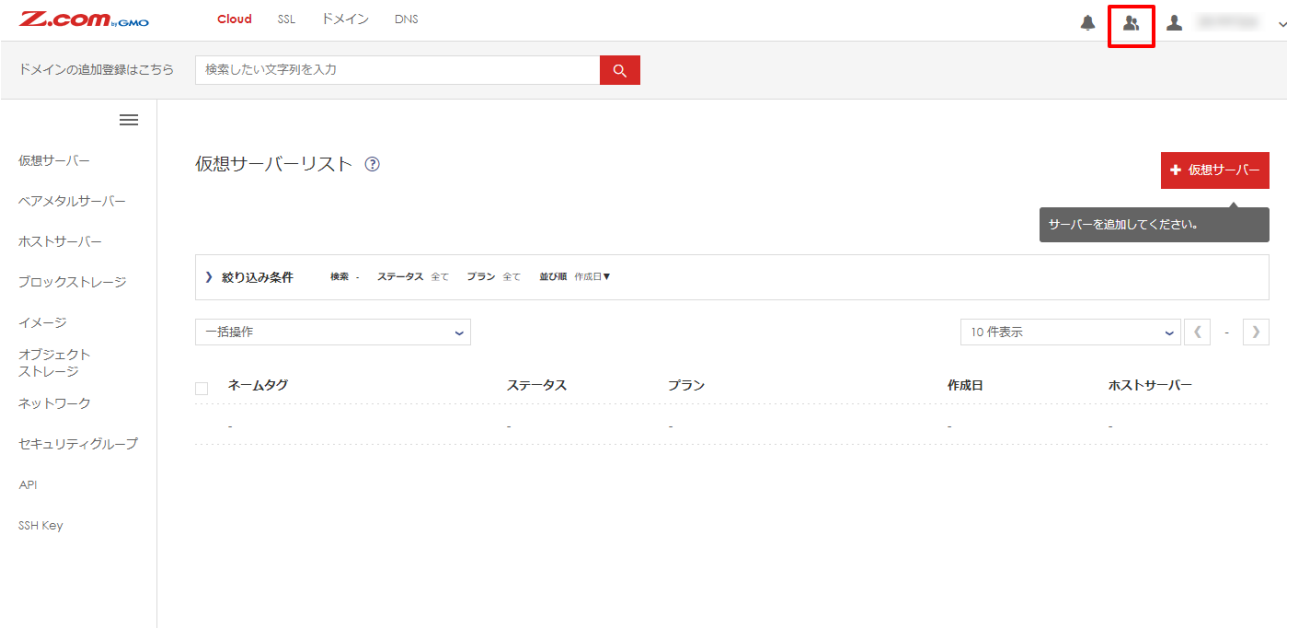
- **ロール** …… 設定する権限タイプを選択します。
- **メールアドレス** …… 対象のサブアカウントに関するメールの宛先となるメールアドレスを入力します。
  空欄の場合は、マスターアカウントのメールアドレス宛てにメールが届きます。

- **メール送信** …… マスターアカウント宛てに送付されるシステムや契約関連のメールを受信させたい場合は、「する」を選択します。
  「しない」を選択した場合、「パスワードリセット」のメールのみ送信されます。
- **パスワード有効期限** … パスワードの有効期限を設定します。

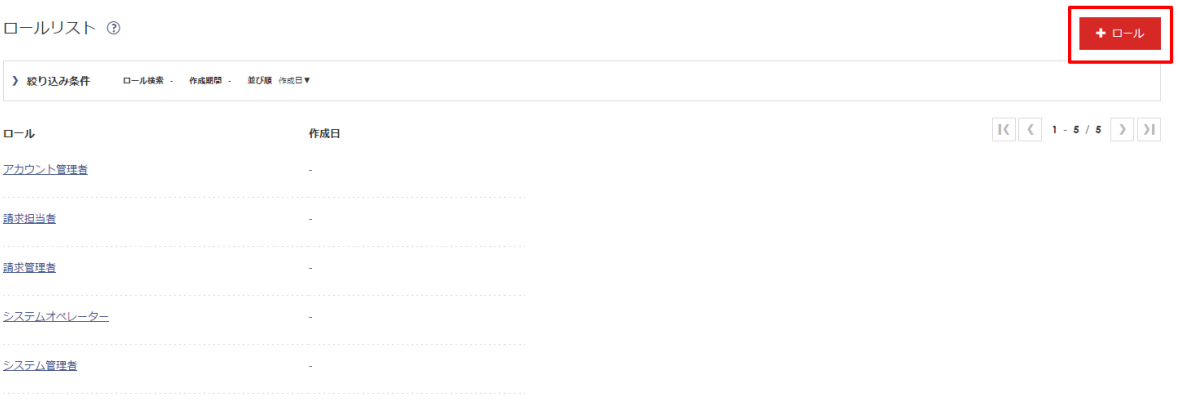
・サブアカウントが作成されると「パスワードリセット」メールが送信されますので、任意のパスワードをご設定ください。
・サブアカウントは、コントロールパネルのログインページにございますパスワード再発行 URL からのパスワードリセットのメールは送信されません。
パスワード再発行をご希望の場合、アカウントリストメニューから「パスワード初期化」を実行してください。

2-3. ロールの作成

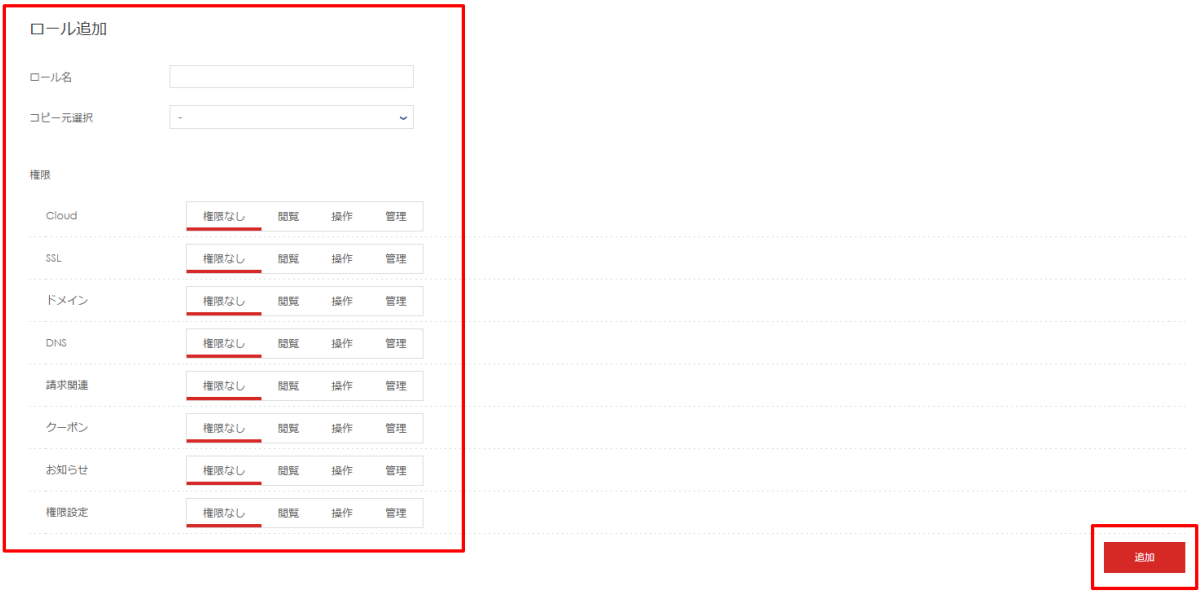
上段メニューより **[マルチアカウント]** アイコンをクリックします。



ロールリストより **[+ ロール]** をクリックします。



各設定項目をご入力・ご選択の上、 **[追加]** をクリックします。



- **ロール名** …… 新しく作成するロールに任意の名前を設定します。
- **コピー元選択** … 既存のロールの権限設定をベースに作成する場合、任意のロールを選択します。
- **権限** …… 各メニューに付与する権限を選択します。
  - 権限なし　：　全て不可
  - 閲覧　：　閲覧のみ可能
  - 操作　：　料金の増減やシステム設定に関係しない操作と閲覧が可能
  - 管理　：　全ての操作・閲覧が可能

3. 仮想サーバー

「仮想サーバー」メニューでは、仮想サーバーの操作や作成が行えます。

3-1. 仮想サーバーの作成

「仮想サーバー」メニューでは、仮想サーバーの操作や作成が行えます。

左メニューより **[仮想サーバー]** をクリックします。

「仮想サーバー」メニュー画面の右上にございます **[+ 仮想サーバー]** ボタンからサーバーの作成が行えます。

ご希望のサーバープランやネットワークをご選択の上、ページ最下部にございます **[追加]** ボタンをクリックすることで、サーバーの作成が開始します。

- **1.プラン** …仮想サーバープランの Standard / HighCPU / HighMEM / 専有 からプランをご選択の上、各該当プランにてご用意しておりますので、任意のタイプをご指定いただきます。

- **2.ブロックストレージ** …仮想サーバーでご利用いただくブートストレージならびに追加ストレージの項目になります。

－－ ブートストレージ －－

[ストレージ選択項目]

- **新規ストレージ**…新しくブートストレージを作成する場合、ご選択いただきます。
- **作成済みストレージ**…作成済みのブートストレージを利用する場合、ご選択いただきます。

[スペック選択項目]

- **ネームタグ**…ストレージに任意の名前を付けることができます。
- **容量**……ストレージの容量をご選択いただけます。
- **IOPS**…… ストレージの IOPS をご選択いただけます。
- **OS**…… ブートストレージにプリインストールされる OS をご選択いただけます。
  なお、お客様にてご取得いただいた保存イメージのご利用をご希望の場合は、[ブロックストレージ] メニューからストレージを作成の上、サーバー作成を実施ください。
- **バージョン**…ご選択いただいた OS のバージョンをご指定いただけます。
  なお、ご選択いただいた OS が標準 OS の CentOS6 系の場合、ご利用いただくストレージ容量に対応した OS イメージをご選択ください。

－－　追加ストレージ　－－

[ストレージ選択項目]

- **接続しない**……追加ストレージを利用しない場合、ご選択いただきます。
- **新規ストレージ**……新しく追加ストレージを作成の上、アタッチする場合、ご選択いただきます。
- **作成済みストレージ**…作成済みの追加ストレージをアタッチする場合、ご選択いただきます。

[スペック選択項目]

- **ネームタグ**…ストレージに任意の名前を付けることができます。
- **容量**……ストレージ容量をご選択いただけます。
- **IOPS**…… ストレージ IOPS をご選択いただけます。

- **3.ネットワーク** … 仮想サーバーでご利用いただくグローバルネットワークならびにプライベートネットワークの項目になります。
  選択いただいたネットワーク毎にセキュリティグループの指定が可能です。

[ネットワーク選択項目]

- **グローバルネットワーク**……共用グローバルネットワーク もしくは 専有グローバルネットワークをご利用いただく場合、ご選択いただきます。
- **プライベートネットワーク**…プライベートネットワークをご利用いただく場合、ご選択いただきます。「VLAN」が未契約の場合、ご選択いただけませんので、ご希望の場合、コントロールパネルの左メニューにございます [ネットワーク] よりお申し込みください。なお、「VLAN」は 1 個、無料でご購入いただけます。
- **NAT ロードバランサー**…… NAT ロードバランサーをご利用いただく場合、ご選択いただきます。「NAT ロードバランサー」が未契約の場合、ご選択いただけませんのでご希望の場合、コントロールパネルの左メニューにございます [ネットワーク] > [+ ロードバランサー] よりお申し込みください。

グローバルネットワーク選択項目

ご選択いただいたネットワークに応じて、グローバル IP アドレス もしくは NAT ロードバランサー用のプライベート IP アドレスをご選択いただけます。

プライベートネットワーク選択項目

ネットワーク項目にてプライベートネットワークをご選択いただいた場合、プライベート IP アドレスをご選択いただけます。

セキュリティグループ選択項目

システム標準(default) もしくは 作成済みのセキュリティグループをご選択いただけます。

- **4.サーバー設定** … サーバーに関する以下項目がご選択いただけます。
  - **ホスト名**…… 仮想サーバーに設定されるホスト名をご指定いただけます。
  - **ネームタグ**…… 仮想サーバーに任意の名前を付けることができます。
  - **SSH Key**……SSH 接続時の鍵認証の利用について、ご指定いただけます。
  - **root パスワード**…仮想サーバーの root パスワードをご指定いただけます。

・Linux 系の OS で、「cloud-init」のパッケージの削除やアップデート、Python のバージョンアップをしている状態で保存されたイメージにてサーバーを作成した場合、正常にサーバーが生成されません。

・お客様にてご取得いただいたストレージのイメージによるサーバー作成について、イメージもとブートストレージの OS が CentOS6 系 かつ イメージもとよりもストレージ容量が大きいサーバーを作成した場合、手動による領域拡張が必要になります。

お手数ではございますが、サーバー作成完了後、コマンドラインにて領域拡張を実施ください。

以下、領域拡張の例をご紹介します。

【操作条件】

1.growpart コマンド、resize2fs コマンドが使える事

(標準 OS イメージではデフォルトでインストール済み)

2.拡張できる領域は一番後ろのパーティションのみ

(標準 OS イメージでは"/"パーティションが一番後ろ)

【拡張方法】

root 権限で下記を実行します。

1.パーティションテーブルを更新し、パーティションそのもののサイズを増やします。

なお、GPT を使用しているため、パーティション番号は 2 になります。

```
# growpart /dev/vda 2
```

2.OS を再起動します。

```
# shutdown -r now
```

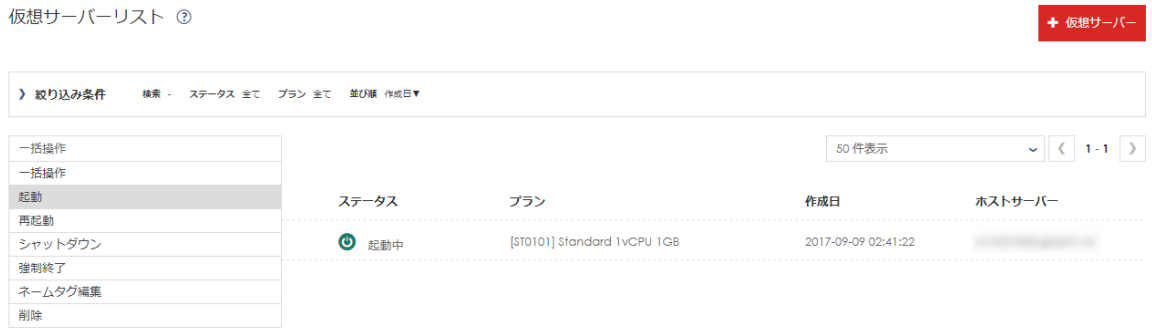
3.OS バージョンが CentOS6.8 以前の場合はファイルシステムの情報を更新し、ファイルシステムが認識しているサイズを増やします。

```
# resize2fs /dev/vda2
```

3-2. 仮想サーバーの操作

左メニューより **[仮想サーバー]** をクリックします。

仮想サーバー一覧が表示され、サーバーの作成と、作成済みの各サーバーの 起動 / 再起動 / シャットダウン / 強制終了 / 削除 / ネームタグ編集 の一括操作が可能です。



また、仮想サーバー一覧に表示されている各ネームタグをクリックすることで、該当サーバーの下記の操作が可能です。

- **起動** …… サーバーの起動を実行します。
- **再起動** …… サーバーの再起動を実行します。
- **シャットダウン** …… サーバーの停止を実行します。
- **強制終了** …… サーバーの強制停止を実行します。シャットダウンができない場合等にお試しください。なお、サーバーのデータが破損する恐れがございますため予めご了承の上で実行してください。
- **コンソール** …… VNC もしくは シリアルコンソールで該当サーバーにログインします。
- **イメージ保存** …… ブートストレージ もしくは 追加ストレージ のイメージ保存を実行します。サーバーが起動状態でも実行可能です。
- **プラン変更** …… 仮想サーバープランの変更を実行します。停止中のサーバーのみ実行可能です。
- **リソースグラフ** …… CPU / ストレージ IO / 転送量 / global network / local network の利用状況を表示します。

- **ネットワーク情報** … グローバルネットワーク / プライベートネットワーク / NAT ロードバランサー の確認や設定 および セキュリティグループの付け替えが可能です。
- **サーバー情報** …… 収容ホスト等の各種サーバー情報の確認や ネームタグの編集 / 逆引きホスト名の編集 / 停止中サーバーのプラン変更 の操作が可能です。
- **ストレージ情報** …… ブートストレージ ならびに 追加ストレージ の情報の確認や追加ストレージのアタッチ / デタッチ の操作が可能です。

・仮想サーバーにて、「acpi」デーモンの停止や削除をしている場合、コントロールパネルの「シャットダウン」メニューは実行されません。
・リソースグラフの内容は、実測値と誤差が生じる場合がございますため、参考値としてご覧ください。
・追加ストレージのアタッチについて、ブートストレージが 50GB のディスクをご利用いただいている場合、50GB の追加ストレージはアタッチいただけませんので、100GB 以上のストレージをご指定ください。
・サーバーの削除は、仮想サーバーの削除のみ実行され、アタッチされていたストレージやネットワークは削除されません。
サーバーにアタッチされていたストレージやネットワークの削除は、「ブロックストレージ」や「ネットワーク」のメニューから実施ください。
・セキュリティグループにて OUT の通信を制御したい場合は、システム標準(defalut)以外のセキュリティグループをアタッチの上、システム標準(defalut)をデタッチしてください。
・セキュリティグループは 1 個アタッチされている必要があります。デタッチをする際にアタッチされているセキュリティグループが 0 個になる場合は、システム標準(defalut)のセキュリティグループをアタッチの上、任意のセキュリティグループをデタッチしてください。

4. ベアメタルサーバー

「ベアメタルサーバー」メニューでは、ベアメタルサーバーの操作や追加が行えます。

4-1. ベアメタルサーバーの追加

左メニューより **[ベアメタルサーバー]** をクリックします。

「ベアメタルサーバー」メニュー画面の右上にございます **[+ ベアメルサーバー]** ボタンをクリックします。

お申し込みに問題がなければ、 **[はい]** をクリックします。

弊社にてお申し込み確認後、別途担当よりご連絡を差し上げますのでお待ちください。

・ベアメタルサーバーにつきましては、お申し込み内容を確認させていただいてからセットアップ完了まで 2～3 営業日程お時間を要します（それ以上のお時間をいただく場合もございます）。

・納品月のご利用料金につきましては、日割りはございません。

・ベアメタルサーバーのプランやご利用料金につきましては、リファレンスページの「ドキュメント」メニューにございます「Z.com Cloud サービス・料金一覧」にてご確認ください。
なお、ご選択可能な OS は以下の通りです。

CentOS 6.9、CentOS 7.3、CentOS 7.4

4-2. ベアメタルサーバーの操作

左メニューより **[ベアメタルサーバー]** をクリックします。

ベアメタルサーバー一覧が表示され、追加済みの各サーバーの 起動 / 再起動 / 強制終了 / ネームタグ編集 の一括操作が可能です。

・ベアメタルサーバーの解約につきましては、弊社営業担当 もしくは お客様センターまでご連絡ください。
弊社営業日の 18 時までに解約をご依頼いただいた場合、翌営業日が最短の解約日になります。
なお、解約月のご利用料金につきましては、日割りはございません。

5. ホストサーバー

「ホストサーバー」メニューでは、お客様が専有できる仮想サーバーが収容されるホストサーバーの追加や情報の閲覧が行えます。

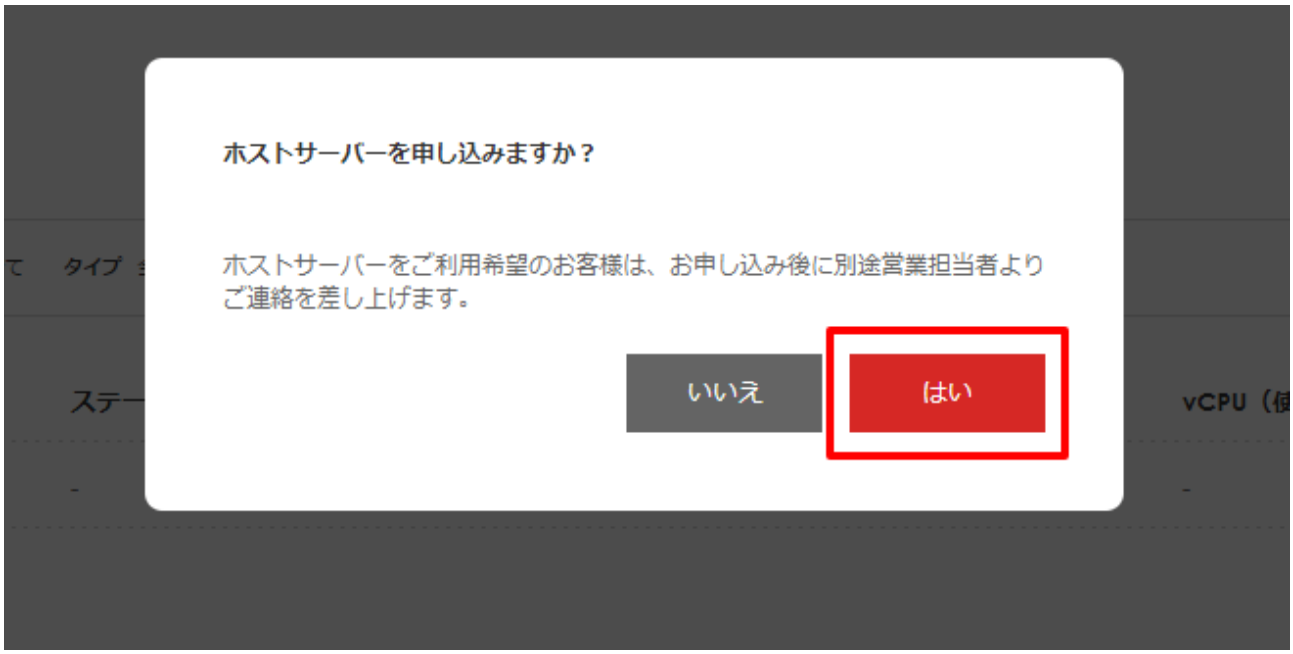
5-1. ホストサーバーの追加

左メニューより **[ホストサーバー]** をクリックします。

「ホストサーバー」メニュー画面の右上にございます **[+ ホストサーバー]** ボタンをクリックします。

お申し込みに問題がなければ、 **[はい]** をクリックします。

弊社にてお申し込み確認後、別途担当よりご連絡を差し上げますのでお待ちください。



・ホストサーバーにつきましては、お申し込み内容を確認させていただいてからセットアップ完了まで 5 営業日程お時間を要します（それ以上のお時間をいただく場合もございます）。

・ホストサーバーのタイプは「Linux」と「Windows」の 2 種類ございます。ご選択いただいたタイプによって収容できる仮想サーバーの OS が異なりますので、収容される仮想サーバーの OS に合わせてホストサーバーのタイプをご指定ください。

・専有のホストサーバーに収容されている仮想サーバーにつきましては、待機中になっている専有のホストサーバーがない場合、フェイルオーバーされません。
障害時にフェイルオーバーをさせたい場合は、お申し込み後に弊社担当よりご連絡させていただいた際にフェイルオーバー用としてのホストサーバーの追加を合わせてご依頼ください。

・納品月のご利用料金につきましては、日割りはございません。

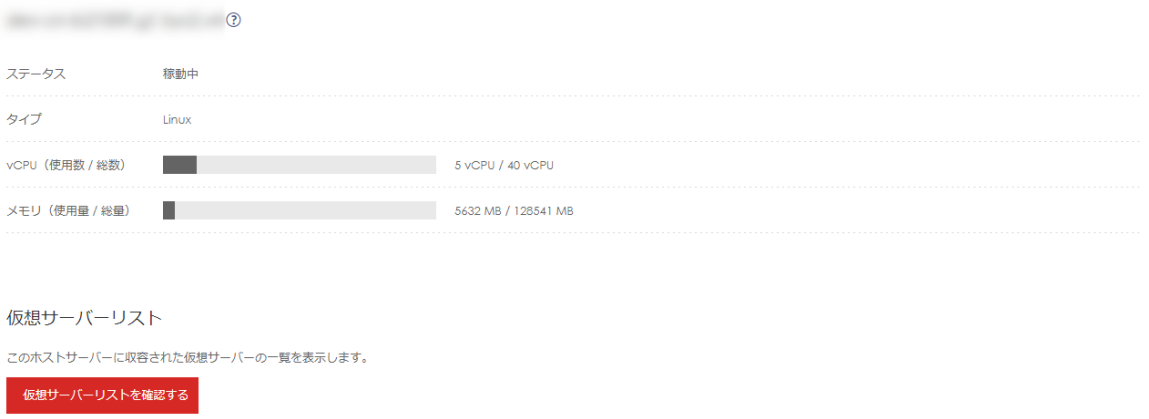
・仮想サーバーをプラン変更する際は、ホストサーバーの指定ができませんので、プラン変更後も専有のホストサーバーに収容させたい場合は、イメージ保存の上、保存イメージにて作り直しをしてください。

5-2. ホストサーバーの操作

左メニューより **[ホストサーバー]** をクリックします。

ホストサーバー一覧が表示され、追加済みの各ホストサーバーの収容状況や状態の確認が可能です。

また、ホストサーバー一覧に表示されている各ホストサーバー名をクリックすることで、該当ホストサーバーに収容されている仮想サーバーの一覧などの詳細情報の確認が可能です。



・ホストサーバーの解約につきましては、弊社営業担当 もしくは お客様センターまでご連絡ください。
弊社営業日の 18 時までに解約をご依頼いただいた場合、翌営業日が最短の解約日になります。
なお、解約月のご利用料金につきましては、日割りはございません。

6. ブロックストレージ

「ブロックストレージ」メニューでは、ブロックストレージの操作や作成が行えます。

6-1. ブロックストレージの操作

左メニューより **[ブロックストレージ]** をクリックします。

ブロックストレージ一覧が表示され、ブートディスクならびに追加ディスクの 確認 / 削除　の操作が可能です。

また、ブロックストレージ一覧に表示されている各ネームタグをクリックすることで、該当ブロックストレージの下記の操作が可能です。

- **詳細情報** …… ストレージ情報の確認、仮想サーバーへのアタッチ/デタッチ、ネームタグの編集が可能です。
- **イメージ保存** …… ストレージのイメージ保存を実行します。
- **イメージ自動保存設定** … 自動でイメージ保存が実行されるようにスケジュールをご設定いただけます。

6-2. ブロックストレージの作成

「ブロックストレージ」メニュー画面の右上にございます **[+ ブロックストレージ]** ボタンからブロックストレージの作成が行えます。
作成されたブロックストレージは「サーバー」メニューから仮想サーバーを作成する際にご選択いただけます。

左メニューより **[ブロックストレージ]** をご選択の上、 **[+ ブロックストレージ]** ボタンをクリックします。

作成するブロックストレージの容量や IOPS などをご選択の上、ページ最下部にございます **[追加]** ボタンをクリックすることで、ブロックストレージの作成が開始します。

－－ ストレージの選択 －－

- **追加ストレージ** …… 追加ストレージを作成する場合、ご選択いただきます。
- **ブートストレージ** … ブートストレージを作成する場合、ご選択いただきます。

－－ 追加ストレージのスペック選択項目 －－

- **ネームタグ** …… ストレージに任意の名前を付けることができます。
- **容量** …… ストレージ容量をご選択いただけます。
- **IOPS** …… ストレージ IOPS をご選択いただけます。
- **イメージ** …… お客様にて別のストレージで保存されたイメージの使用の有無をご選択いただけます。

－－　ブートストレージ　－－

- **ネームタグ** …… ストレージに任意の名前を付けることができます。
- **容量** …… ストレージ容量をご選択いただけます。
- **IOPS** …… ストレージ IOPS をご選択いただけます。
- **イメージ** …… 「OS」もしくは「保存イメージ」をご選択いただけます。
  「OS」をご選択の場合、標準 OS にてストレージを作成します。
  「保存イメージ」をご選択の場合、お客様にて別ストレージで保存されたイメージにてストレージを作成します。
- **OS** …… 「イメージ」項目にて「OS」をご選択の場合、選択項目として表示されます。
  ブートディスクにてプリインストールされる OS をご選択いただけます。
  なお、お客様にてご取得された仮想サーバーのイメージをご選択いただく場合、後述する補足内容をご参照ください。
- **バージョン** …… 「イメージ」項目にて「OS」をご選択の場合、選択項目として表示されます。
  ご選択いただいた OS のバージョンをご選択いただけます。
  なお、ご選択いただいた OS が標準 OS の CentOS6 系の場合、ご利用いただくストレージ容量に対応した OS イメージをご選択ください。
- **保存イメージ** … 「イメージ」項目にて「保存イメージ」をご選択の場合、選択項目として表示されます。
  お客様にて別ストレージで保存されたイメージをご選択いただけます。

・50GB/500IOPS のストレージにつきましては、仮想サーバーにアタッチされていない場合、追加上限は 10 個となりますため、10 個作成いただきましたら、一度、仮想サーバーにアタッチしてから改めて追加ください。

なお、追加ストレージを仮想サーバーにアタッチした場合、ファイルシステムのマウント作業が必要となりますので、該当のサーバーにログインの上、実施ください。
一般的な設定例につきまては、以下にてご紹介させていただきますので、ご参考にしていただければと存じます。

【Linux の場合】
・アタッチされた追加ストレージは以下にてご確認いただけます。
fdisk -l

マウント方法の例

1. ディスクのフォーマットをおこないます。
   # mkfs -t ext4 /dev/vdb
2. マウント先のディレクトリを作成します。
   # mkdir /mnt
3. マウントを実行します。
   # mount /dev/vdb /mnt
4. マウントがされているか確認してください。
   # df -h

・起動時にマウントをされたい場合は、別途 /etc/fstab にて自動マウントもご設定ください。

【Windows の場合】
デバイスとして認識されますので、OS の「サーバーマネージャー」等のメニューから設定ください。

7. イメージ

「イメージ」メニューでは、保存されたストレージのイメージの 確認 / 削除 が行えます。

左メニューより **[イメージ]** をクリックします。

- **イメージ保存容量** … 保存されているイメージの総容量がご確認いただけます。
- **イメージリスト** …… 保存されているイメージが一覧でご確認いただけます。また、保存されているイメージの削除を実行できます。

8. オブジェクトストレージ

「オブジェクトストレージ」メニューでは、現在の使用容量やリクエスト状況の確認が行えます。

左メニューより［オブジェクトストレージ］をクリックします。

- **リージョン** …… オブジェクトの保存先のリージョン情報になります。
- **現在の使用容量**… 保存されているオブジェクトの総容量がご確認いただけます。
- **リソース** …… ディスク容量やリクエスト数の状況を期間毎にご確認いただけます。

・現在の使用容量やリソースグラフの内容は、実測値と誤差が生じる場合がございますため、参考値としてご覧ください。

9. ネットワーク

9-1. ネットワークリスト

「ネットワークリスト」では、ネットワークの追加や削除、停止中の仮想サーバーに追加済みの IP アドレスの付与が行えます。

左メニューより **[ネットワーク]** をクリックします。

ネットワークリスト一覧に表示されているネットワーク名をクリックすることで、IP アドレス もしくは ネットワークの追加や追加された IP アドレスの確認・削除が行えます。

- **標準グローバルネットワーク** …… 共用グローバルネットワークから払い出されるグローバル IP の追加や削除、停止中の仮想サーバーに追加済みの IP アドレスの付与が行えます。
- **標準グローバルネットワーク（追加 NIC 用）** … 共用グローバルネットワークから払い出されるグローバル IP の追加や削除、停止中の仮想サーバーに追加済みの IP アドレスの付与が行えます。仮想サーバーに 2 つ目のグローバル IP を付与したい場合に追加ください。
- **専有グローバルネットワーク** …… 専有グローバルネットワークから払い出されるグローバル IP の追加や削除、停止中の仮想サーバーに追加済みの IP アドレスの付与が行えます。
- **プライベートネットワーク（VLAN）** …… VLAN の追加や削除、仮想サーバーにプライベート IP の付与が行えます。
- **NAT ロードバランサー接続用ネットワーク** … NAT ロードバランサーが未契約の場合、ご選択いただけませんので、ご希望の場合、**[+ ロードバランサー]** よりお申し込みください。

・専有グローバルネットワークにつきましては、お申し込みからセットアップ完了まで 1 ヶ月程お時間を要します。
・NAT ロードバランサーにつきましては、お申し込みからセットアップ完了まで 2～3 営業日程お時間を要します。

9-2. ロードバランサー

「ロードバランサー」では、DSR/NAT ロードバランサーの追加や削除、DSR ロードバランサーの設定が行えます。

左メニューより **[ネットワーク]** をクリックします。

[+ ロードバランサー] をクリックすることで DSR ロードバランサー もしくは NAT ロードバランサーの追加が可能です。

－－　ロードバランサー　－－

ロードバランサーを追加すると以下設定項目が表示されます。

ヘルスモニタリング

バランシング先のサーバーのヘルスチェック(死活監視)のルールを作成できます。

- **プロトコル** … HTTP / TCP / PING からご選択いただけます。
- **判定時間** …… エラーと判定されるまでの応答時間をご設定いただけます。
- **パス** …… 「プロトコル」項目にて「HTTP」をご選択いただいた場合、表示されます。HTTP 通信を確認する際の接続先のパスをご指定いただけます。

ロードバランサー設定

VIP の追加や削除、VIP 毎のバランシング設定やバランシング先のサーバー追加/削除が行えます。

- **バランシング元ポート** …… 20 / 21 / 25 / 80 /443 / 587 / 8080 からご選択いただけます。
- **バランシング方法** …… ラウンドロビン / リーストコネクション からご選択いただけます。
- **ヘルスモニタ** …… 「ヘルスモニタリング」で作成いただいたルールからご選択いただけます。
- **バランシング先 IP アドレス** … 仮想サーバーに設定された IP アドレスからバランシング先の対象をご選択いただけます。

10. セキュリティグループ

セキュリティグループは、サーバー毎に IP アドレス または ポートでトラフィックを制御する仮想ファイアウォールとして機能します。

「セキュリティグループ」メニューでは、セキュリティグループの追加 および 管理ができます。

10-1. セキュリティグループの追加

左メニューより **[セキュリティグループ]** をクリックします。

「セキュリティグループ」メニュー画面の右上にございます **[+ セキュリティグループ]** ボタンをクリックします。

追加するセキュリティグループの名前や説明を入力 および ルールを指定の上、ページ最下部にございます **[追加]** ボタンをクリックすることで、セキュリティグループの作成が開始します。
セキュリティグループのルールは **[+]** アイコンをクリックすることで追加できます。

－－　セキュリティグループの各項目　－－

- **セキュリティグループ名** …… 追加するセキュリティグループの名前を指定します。既存のセキュリティグループ名と同じ名前は指定できません。
- **説明** …… 任意の項目になります。追加するセキュリティグループの用途などをメモとして残したい場合はご活用ください。
- **My IP コピー** …… コントロールパネルにアクセスしている現在の IP アドレスをコピーします。ルールを指定する際に 80 番ポート等の許可 IP として IP 制限を入れたい場合等にご活用ください。
- **テンプレートから自動入力** … 用途に応じた汎用性の高いルールのテンプレートをご用意しておりますので、ルールを追加いただく際にご活用ください。

－－　セキュリティグループ ルールの各項目　－－

- **通信方向** …… IN(受信)、OUT(送信)のどちらの通信に対して指定したルールを適用するか選択します。
- **イーサタイプ** … IPv4 固定になります。
- **プロトコル** …… 「ALL」、「TCP」、「UDP」、「ICMP」から選択します。「ALL」を選択した場合、全てのプロトコルが対象になります。
- **ポート範囲** …… プロトコルに「TCP」もしくは「UDP」を選択した場合、指定できます。
  任意のポート番号 もしくは 範囲指定(例 0-65535)が可能です。

- **IP/CIDR** …… ルールを適用する接続元 IP を指定できます。指定がない場合はすべての接続元に対して適用されます。

・セキュリティグループの作成時に OUT 方向のルールとして IPv4 および IPv6 のルールが 2 個標準で追加されます。ルールの編集や削除はセキュリティグループの作成後に可能です。

10-2. セキュリティグループの操作

左メニューより **[セキュリティグループ]** をクリックします。

セキュリティグループ一覧が表示され、追加したセキュリティグループの 確認 / 名前の変更 / 説明の編集 / ルールの変更 / 削除　の操作が可能です。

・システム標準(default)のセキュリティグループは編集 および 削除はできません。
・サーバーにアタッチされていないセキュリティグループのみ削除が可能です。

11. API

「API」メニューでは、API 情報をご確認いただけます。

左メニューより **[API]** をクリックします。

テナント情報

- **テナント ID**
- **テナント名**

エンドポイント

- **Account Service** … アカウントと請求に関するエンドポイント。
- **Compute Service** … 仮想サーバーに関するエンドポイント。
- **Volume Service** … ブートストレージならびに追加ストレージに関するエンドポイント。
- **Image Service** … 保存イメージに関するエンドポイント。
- **DNS Service** … DNS に関するエンドポイント。
- **Object Storage Service** … オブジェクトストレージに関するエンドポイント。
- **Identity Service** … 認証サーバーに関するエンドポイント。
- **Network Service** … ネットワークに関するエンドポイント。

API ユーザー

- **ユーザー名**
- **パスワード**

・API については、API ユーザーを作成の上、ご利用ください。

12. SSH Key

「SSH Key」メニューでは、SSH 接続の鍵認証にご使用いただく SSH 鍵の作成ならびに削除が行えます。

左メニューより **[SSH Key]** をクリックします。

[+ SSH Key] をクリックすることで SSH 鍵の作成ならびにインポートが可能です。

その他、ご不明な点は下記サポート窓口または営業担当までお気軽にご相談ください。

GMO インターネット株式会社　「Z.com Cloud」　お客様センター

電話： 03-6627-4987　(平日 10:00 ~ 19:00 受付)
メール： biz.cloud.jp@z.com